

浜太極

第47号

特定非営利活動法人
日本健康太極拳協会公認

楊名時八段錦・太極拳
神奈川県支部

師家・楊名時先生 揮毫

発行人 神奈川県支部 支部長 結城 靖博
編集人 神奈川県支部 理 事 金森 良子

2025年8月20日発行

神奈川県支部 支部長の挨拶

神奈川県支部 支部長 結城 靖博

4月24日に東京体育館で開催されました楊名時師家生誕100年を祝す記念大会が、無事終了いたしました。全国の支部長が集結し、また各支部から多くの会員が参加され、あらためて楊名時八段錦・太極拳の輪の大きさを実感させられる、感動のひとつでしたね。

神奈川県支部からも、たくさんの方々が参加してくださいました。この場を借りて、あらためて深く御礼を申し上げます。

また、6月5日には、関内ホールでの支部定例総会が皆さまのご協力のもと無事成立し、支部として次の一步を進むことが承認されました。これもまた、深く深く感謝申し上げる次第です。

ところで、話は変わりますが、「拳」には二つの意味があることをご存じでしょうか？

ひとつは、誰でもすぐ思い浮かべる「戦闘のための武器」という意味です。

ですが、もうひとつ、まったく真逆ともいえる意味があります。それは、「相手を敬い憚む様子」というものです。その典型的な用例が「拳拳服膺」ですね。

第23回神奈川県支部総会にて

では、私たちの健康太極拳、楊名時八段錦・太極拳の「拳」はどちらを意味するか？ 言うまでもなく後者だと、私は思います。

お互いが拳を固く握って振り上げれば争いとなり、お互いが指を丸めて相手を敬えば不爭となる。

太極拳の拳 (quan) の作り方の極意にもつながるのではないのでしょうか。

世の中に争いが絶えない今、師家生誕100年の時を迎え、あらためて師家が大切にしていた「不爭の心」が胸に響く今日この頃です。

